

サレル事ヲ必要トシテキルノデアル。ソシテ一切ノ懸傾向（官僚主義、宗派主義、日和見主義、組合主義）カラ解放サレ、労働者ノ動キニ敏感ナ耳目ヲ持ツ有爲ナ指導的役員ヲ以ツテ全協各産別支部ヲ固メル事ガ必要トサレテキルノデハナカラウカ？凡ユル領域ニ於テ正シキ方針ヘノ必要ナ轉換ヲナシ得ナイ、所謂傾向ノヨクナイ指導的役員達ハドシドシ部署ヲ變ヘ指導的立場カラ收除ケ、優秀ナ工場労働者ヲ工場カラ引キ拔キ職業的革命家トシテ育テ上ゲネバナマイ。ダガ、ソシテ同志ハ絶對ニナイ管ダ。全員凡テヲ新シク第一歩カラヤリ直スコトガ必要トサレテキルノデハナカラウカ？

五次ニ氣付イタニ、三ノ點ヲ附加シタイ。

- (1) 各組合支部ヲ獨自ニ財政ヲ固メルコト
- (2) レポーター其ノ他ノ技術的ナ仕事ノ重要性ヲ認識スルコト。「ア、イツハタヨリナイカラ、レポーター位ニシヨウ」トカ「アソナ技術的の仕事ハ大シテ重要性デナイ」ト云フ様ナ考ヘ方ヲ徹底的ニ清算

- (3) 規律ノ嚴守。全協ノ同志ノ間ニハ、コノ規律ガ非常ニルーズニサレテキル。コレハ被害ヲ大キクスルモトダ。連絡時間ヲ守ラナイコト、連絡ヲ切ルコト、非合法ニ任人同志ノ家ヘノ不用意ナ訪問—コレハ特ニ甚ダシイ。
- (4) 財政ニ關スル非ホルシエビーク的意識ノ根強イ侵襲。無新等ノ紙代ヲ拂ハナイコトヲ當然ダトテモ考ヘテキルガノ傾向一舉ハ万事ダ。從ツテ組合費モ規則的ニ取ラウト積極的ニ努力シナイ。財政ニ關スルホルシエビーク的意識ヲ徹底サスコトダ。
- (5) 他ノ諸組織—文化團體等トノ協同。全協第一主義ガ根強イ。戦旗ヤモツブル等ウツトシイカラ連絡切レナンテ云フコトヲ指導的立場ニアル同志ガヨク云フ。オ互ノ組織上ノ成果ヲ交換シ合フト云フ風ニナサルベキダ。